

情報ビジネス科

接客サービス 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	小川芳郎			実務 経験	無	職種					

授業概要

サービスの定義や対人技能等の基礎について学びながら、検定合格を目指とする。

到達目標

■接客サービスの基本を知り、サービス接遇検定試験 3 級合格を目指とする。

授業方法

■接客販売における基本的知識、技術や販売員としての心構え、常識を学び、接客サービスの基本を理解する。 ■サービス接遇検定 3 級の過去問題を通じて、解答のポイントを説明する。

成績評価方法

試験、課題、小テスト等を総合的に評価する。

履修上の注意

検定試験の対策を行う。それぞれの検定試験に対して正しく解答すべくポイントを絞って解説する。授業中の私語や受講態度などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。

教科書教材

サービス接遇検定受験ガイド 3 級、サービス接遇実問題集 3 級/早稲田教育出版

回数	授業計画
第 1 回	イントロダクション(サービス接遇検定 3 級試験までの合格計画を伝え、学生達にも考えさせる。)
第 2 回	サービススタッフに必要とされる要件(明るさと誠実さ、適切な判断と表現、身だしなみが理解できる)
第 3 回	サービススタッフの従業要件(良識と素直な態度、適切な行動と協調性、清潔感、忍耐力のある行動が理解できる)

第 4 回	サービス知識(サービスの意義、機能、種類が理解できる)
第 5 回	従業知識(商業用語、経済用語が理解できる)
第 6 回	社会常識(社会常識、時事問題が理解できる)
第 7 回	人間関係(人間関係が理解できる)
第 8 回	接遇知識(対人心理、一般的なマナー、接遇者としてのマナーが理解できる)
第 9 回	話し方(接遇用語、接遇者としての基本的な話し方、指示・説明の仕方が理解できる)
第 10 回	問題処理(問題処理が理解できる)
第 11 回	環境整理(環境整理が理解できる)
第 12 回	金品管理(金品の管理が理解できる)
第 13 回	社交業務(社交儀礼の業務が理解できる)
第 14 回	過去問題(過去問題の解答、解説が理解できる)
第 15 回	まとめ(これまでの授業の振り返り)